電気系・高度ものづくり技能の追求と実践

IT ネットワークシステム管理

山﨑 晴翔

1. 目的

- ・第 17 回若年者ものづくり競技大会 IT ネットワークシステム管理職種で
- ・ネットワークや Linux サーバの知識・技能を身に着ける。

2. IT ネットワークシステム管理職種とは

ネットワークシステム管理職 種とは信頼性のある ICT・サーバ システムの構築技術及びインタ ーネットへの接続も含めた社内 ネットワーク構築技術を競う競 技である。4時間で競技課題の 要求通りにネットワーク構成図 (図1)の中からルータ、サーバ をそれぞれ2台ずつ設定する。

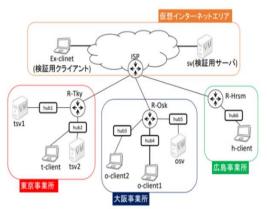


図 1. ネットワーク構成図

分類	ソフトウェア名	
仮想化ソフトウェア	VMware ESXi6.7	
	VMware Remote Console	
ネットワーク仮想化ソフトウェア	Cisco Modeling Labs	

表 1. 競技で使用するソフトウェア

3. 大会に向けての取り組み

(1) ネットワーク構築

普段のネットワーク構築の練習では、Cisco Modeling Labs を使って 過去の競技環境と同じ環境を作り問題を解いた。競技課題にはない Cisco Modeling Lab を使ったゼロからのネットワーク構築をすること で、課題の全体像や競技概要をイメージしやすくなりスムーズな理解 につながった。また、昨年度の大会で対応することができなかった、 IPv6 アドレスの対策も行った。

ネットワーク	⇟⇁⇁	PPPoE	性 的	フィルタ	ACL
	基本設定	クライアント	ルーティング	リング	DHCP

表 2. 競技課題(ルーター設定)

(2) サーバ構築

サーバ構築では、毎年 Web サービスや Mail サービスの課題が出題 される。そのため、名前解決ができるよう DNS を徹底的に練習した。 DNS の構築に使う bind9 は過去に逆引きや view を使った課題が出題 されているため、どの組み合わせが出題されても対応できるよう繰り 返し練習した。また、昨年度 Web サービスの問題が多く出題されたた め、今年度は Mail サービスの問題が多く出題されると予想し、Mail サ ービスの練習に力を入れた。

サーバ	OS install	ネットワーク	サーバ証明	Web	DHCP
			DNS	メール	SSH

表 3. 競技課題(サーバ設定)

4. 若年者ものづくり競技大会

8月2日に静岡県のツインメッセ静 岡で開催された若年者ものづくり競技 大会に参加した。前日に競技内容の説 明、競技場所(座席)の抽選、機材の確 認を行った。今年度の競技課題はネッ トワーク、サーバともに IPv6 に関す る問題が多く、サーバ設定の修正作業 に時間がかかってしまった。



5. 結果

今年度は IPv6 アドレスの設定や力を入れた DNS、Mail も設定すること ができたが目標とする入賞には至らなかった。理由としては DNS64 や NAT64 など IPv4 と IPv6 を連携させる設定など、過去の課題を複合させた 問題に対応できなかったことがあげられる。一方、IPv4、IPv6 だけの設定 や、今までと同じような問題は練習の成果を発揮することができた。

6. Python による Web サイト制作

大会終了後、新たに Flask、MySQL を使った Web サイトの制作を行っ た。このウェブサイトは写真投稿重視の掲示板としてよりレベルの高いサ ーバ、ネットワーク技術習得やバックエンド開発の経験を目的として制作 をした。そのため Web サイトの UI は簡素なものとなっている。また、今 回はウェブサーバに Nginx、Web アプリケーションサーバに Flask、デー タベースに MySQL を採用し Web3 層構成とした。この構成ではクライア ント、nginx、uWSGI、Flask という順にリクエストが流れる。

(1)

NGINX

Webサーバ

Webアプリケーションサーバ



uWSGI



図 2. 技術構成図

(2) 主な機能

- ログイン機能
- ユーザー登録、削除
- 画像閲覧
- 文字画像投稿、削除(未実装)

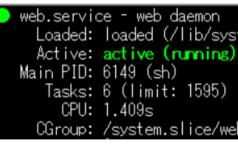


図 3. systemctl status

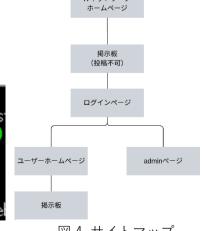


図 4. サイトマップ

7. まとめ

若年者ものづくり競技大会では、入賞には届かなかったが、今まで学ん できた技術を最大限発揮できたと思う。今回の大会で得た反省点をまとめ、 来年度出場する後輩や、今後の自分のために生かしていきたい。ウェブサ イト開発では、Web サーバ、WSGI、Web アプリケーションサーバを組み 合わせて Web3 層構成を作ることができた。今回は raspberry pi 上での構 成だが今後は AWS などのクラウドサービスの技術を習得し、社会に貢献 できる人材になれるよう、励んでいきたい。